

子どもが安心して学べる学校

いじめを許さない学校

思いやり溢れる学校

基本方針

- \* 『自分で動く 全力でやりぬく』授業の実現
- \* 『相手を思いやれる』子どもの育成
- \* 『3にもを大切にする』子どもの育成

【未然防止】

- \* 授業を通して、「居場所」と「つきたい力」を子どもがもてるようにする。
- \* 『相手を思いやれる』子どもを育成する。
- \* 生活指導\*特別支援教育指導を通して、生活のきまりを守り、正しく判断する子を育てる。
- \* 『自分事として捉え、自分たちで動く』子どもの育成。
- \* 特別活動を通して、『3にも（自分にも相手にもみんなにもよいことを考えよう!）』を実践する子を育てる。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・思いやり、助け合うことができる（児童）89%
- 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期発見】

- \* 『校内アンケート』を活用する。
- \* 日常の『音読カード』『日記』『連絡帳』等に書かれた子ども保護者の声を受けとめる。
- \* 子どもの『表情』\*『しぐさ』\*『行動』等から『なぜ、そうなのか（原因）』を考え、見つめる。
- \* 生徒理解研修（子どもを語る会）の実施を通して全職員で子どもの情報を共有する。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・相談できる友達や先生がいる（児童）90%
- 本年度は95%達成を目標として継続して取り組む

【早期対応】

- \* 『第一報』を活用する。  
記入者→生徒指導主任、教務部（校長、教務、学担、養護教諭、事務主任）、各学年
- \* 毎週の夕打ちで気になる児童について報告をする。
- \* ケース会議を設定する。
- \* 関係機関との連携を進める。
- 昨年度の取り組みの評価 —
- ・安心安全な学校づくりに努めている（保護者）91%
- ・安心安全な学校づくりに努めている（教員）100%
- 本年度も90%達成（保護者）を目標として継続して取り組む

【PTAや地域との連携】

- \* 学校だより、学年だよりを発行する。
- \* 学校運営協議会での情報交換、情報収集

【児童生徒が自ら考える場・機会の設定】

- \* 各学級での『3にも』掲示板を活用する。
- \* 学級活動、朝・帰りの会を充実したものにする。

【いじめ対策委員会】

- 委員  
校長・教頭・教務主任・  
養護教諭・生徒指導主任・  
特別支援教育コーディネーター・  
該当学年部・SC・PTA会長

【職員研修・指導体制】  
【取組等の点検】

- \* 生徒指導研修会を行う。  
（担任の悩みを全校職員が共有し改善策を構築する。）
- \* SCを講師とした生徒指導研修会を行う。  
（いじめ早期発見に向けた研修を積み重ねる。）
- \* 問題対応については、早期に報告し、常にチームで対応する。
- \* 生徒指導部会や職員会議で、各学年の状況について話し合い、指導の重点などを共通理解する。
- \* 生徒指導提要の「いじめ」の項目などを活用し、研修を行う。

【関係機関との連携】

- \* 教育政策課生徒指導担当
- \* 藤枝警察署
- \* 子ども家庭課
- \* 子ども発達支援センター
- \* 児童相談所
- \* SC
- \* SSW
- \* 通級指導教室など